



とべだより

令和6年2月29日

3月号

横浜市立戸部小学校

学校教育目標： それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

子どもの「やりたい！」がある学校

学校長 保科 優子



2月17日（土）に開催した今年度の「とべとべファンタジー2023（以下とべファン）」は、保護者の皆様だけでなく、地域の皆様にもいらしていただくことができ、これまで以上に活気にあふれたものになりました。たくさんの方に発表を聞いていただいたり、一緒に体験していただいたりすることができ、本当に子どもたちはうれしそうでした。エンディングセレモニーのときの子どもたちの顔はやり切ったという満足でいっぱいの素敵な表情でした。ご多用の中いらしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

このとべファンは、子どもたちが、生活科や総合的な学習の時間に取り組んできたことを多くの人に知っていただく場です。子どもたちは年度当初から「戸部のまちの人を笑顔にしたい」という夢をもち、その夢の実現に向けて取り組んできました。取り組み方は、学級によって、また発達段階によって異なります。体験を通してできるようになったことや友達と一緒に学ぶ楽しさを知り、それを紙芝居やすごろくなど自分なりの表現方法で伝えていた低学年。中学年は、興味・関心のあることから、まずは体験し、その体験から解決すべき課題を見だし、友達と話し合ったり、ときには専門家のお力もお借りしたりしながら解決してきました。発表では自分たちが体験したことを再現しながらそこから感じたこと、考えたこと、大切にしたいことを伝えていました。高学年は、区の方たちとも関わりながら、戸部のまちの問題点等に気づき、大まかな見通しをもって解決すべき課題を設定し、解決に向けて友達と一緒に真剣に話し合ったり、専門家の意見を聞いたりしながら本気になって取り組みました。いずれの学年・学級でも、自分たちの取組に自信をもって伝えている姿をたくさんご覧いただけたことと思います。

こうした地域の方々と本気になって関わる学習では、子どもたちの「やりたい！」がたくさん生まれます。この「やりたい！」という思いこそ、子どもたちが学びに向かう原動力です。戸部小学校ではこれからも子どもたちの「やりたい！」がたくさん生まれるような学習活動を保護者・地域の皆様のお力をお借りして展開していきます。そうして、先行き不透明な未来に向けて子どもたちが自分で歩いていける力を付けていくお手伝いをしていきたいです。

とべファンも終わり、いよいよ今年度も残すところ1か月となりました。よい年度の締めくくりができるよう教職員一同力を合わせて頑張ります。3月も、どうぞよろしくお祈りします。